

新型コロナウイルス情勢下における 東京都内の地域活動団体の 活動状況について

【団体向け緊急アンケート調査結果の概要】

2020年5月15日



いくつになっても、いきいきと暮らせるまちをつくる

東京ホームタウン
プロジェクト TOKYO=HOMETOWN PROJECT

調査概要

【調査の目的】

東京ホームタウンプロジェクトで過去支援をした団体について、現在の活動状況、課題及びニーズを把握し、今後の活動支援の検討に役立てていくために実施。

【調査の概要】

- 調査期間 : 2020年4月27日～2020年5月8日
- 対象者 : 過去東京ホームタウンプロジェクトでの支援先団体
- 回答団体数 : 45団体

結果サマリ

【結果の概要】

①新型コロナウイルスの影響について

活動頻度の変化	「完全に停止した」と回答した団体が47%、「減少した」と回答した団体が53%、あわせて100%。
深刻になると感じる地域課題	「人と会う機会が減る（43件）」「孤独を感じる人が増える（37件）」「近所の助け合いが後退する（32件）」との回答が多い。
新たな取り組み	<p>新型コロナウイルスの影響を受けて「すでに新たな取り組みを始めている」団体は22%、「新たな取り組みを検討している」団体は38%。 オンラインサービスの整備、オンライン上の情報発信、オンライン会議の開催、他団体との連携強化、政策提言などの取り組みが見られた。</p> <p><u>新たな取り組み内容の例（一部抜粋）</u></p> <ul style="list-style-type: none">● 緊急事態宣言発令以降は、オンラインによる学習支援と体操とレクを専門のボランティアが中心となり展開している。● SNS等を利用した情報発信と交流。コーヒー宅配の実施。● 地域限定の互助会を立ち上げる予定です。買い物支援や見守り、スーパーの在庫情報など、人と会わずにキッチンと正しい情報を提供する体制作りを近隣の商店会長さんや介護系NPOと連携しています。
困りごと	<p>活動や会議が困難、活動対象者への不安、経営状態が厳しい、リモートシステムの運用などに、課題を感じている団体が見られた。</p> <p><u>困りごとの例（一部抜粋）</u></p> <ul style="list-style-type: none">● 福祉有償運送運転者講習会などの講習会や、イベントが開催できない● 従来の地域住民の居場所の機能が休止したことで、居場所を失った人たちが引きこもり状態となり体力低下、人とのコミュニケーションが減少して精神的なストレスを抱えている。● 各種催事がすべて中止、講師派遣のキャンセルが続出し収入減。自粛により使用しない事務所家賃の支出。

結果サマリ

【結果の概要】

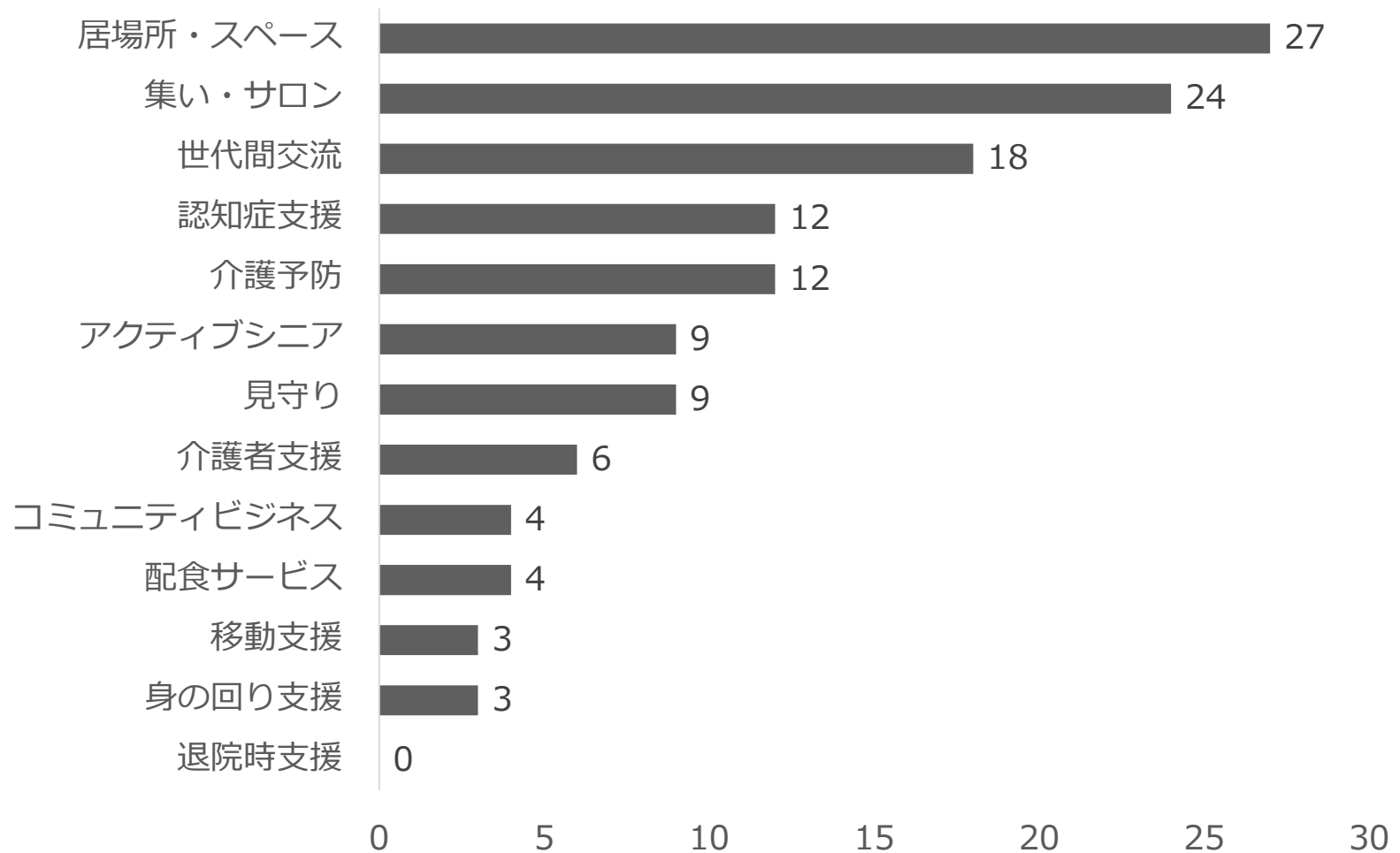
② ビデオ会議ツールの活用について ※Zoom, Messenger, LINE, Teamsなど

ビデオ会議ツールの利用状況	団体内部でのビデオ会議ツールの利用状況は、週に1回以上利用している団体が15%。その他の団体は、あまり活用していない、または利用したことがない。 また、活動参加者との間でのビデオ会議ツールの利用状況は、週に1回以上利用している団体が9%。その他の団体は、あまり活用していない、または利用したことがない。
活用したいツール	使い方がわかれば使ってみたいツールは、Zoom（21件）が最も多い。
団体同士の情報交換への期待	今後、ビデオ会議ツールを活用した情報交換について、「とても関心がある」「やや関心がある」と回答した団体はあわせて78%。

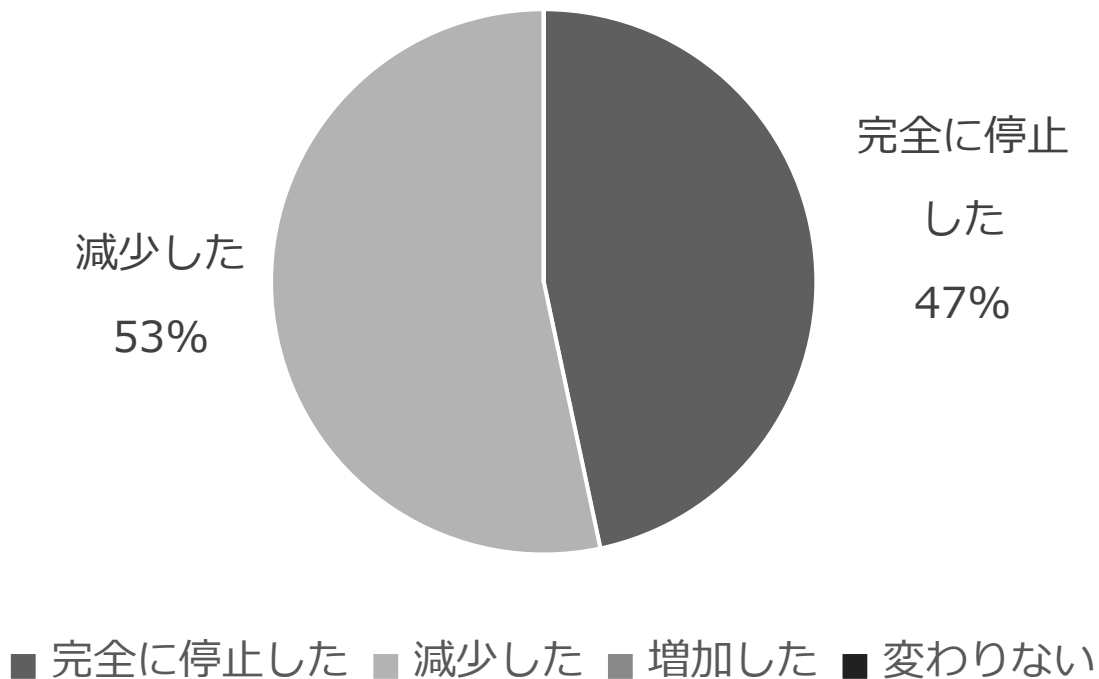
③ 短期的・緊急的にプロボノに依頼したい支援について

プロボノに依頼したい支援	24団体（活動が完全に停止・もしくは減少）がプロボノ支援を希望。但し、応急的な支援としてではなく、長期的な組織基盤の強化に向けたものも含まれている。 希望内容は、オンラインサービス設計、ITの活用、ウェブサイトリニューアル、活動マニュアル、業務フロー設計、基礎調査、ビデオ会議の使い方など。
---------------------	--

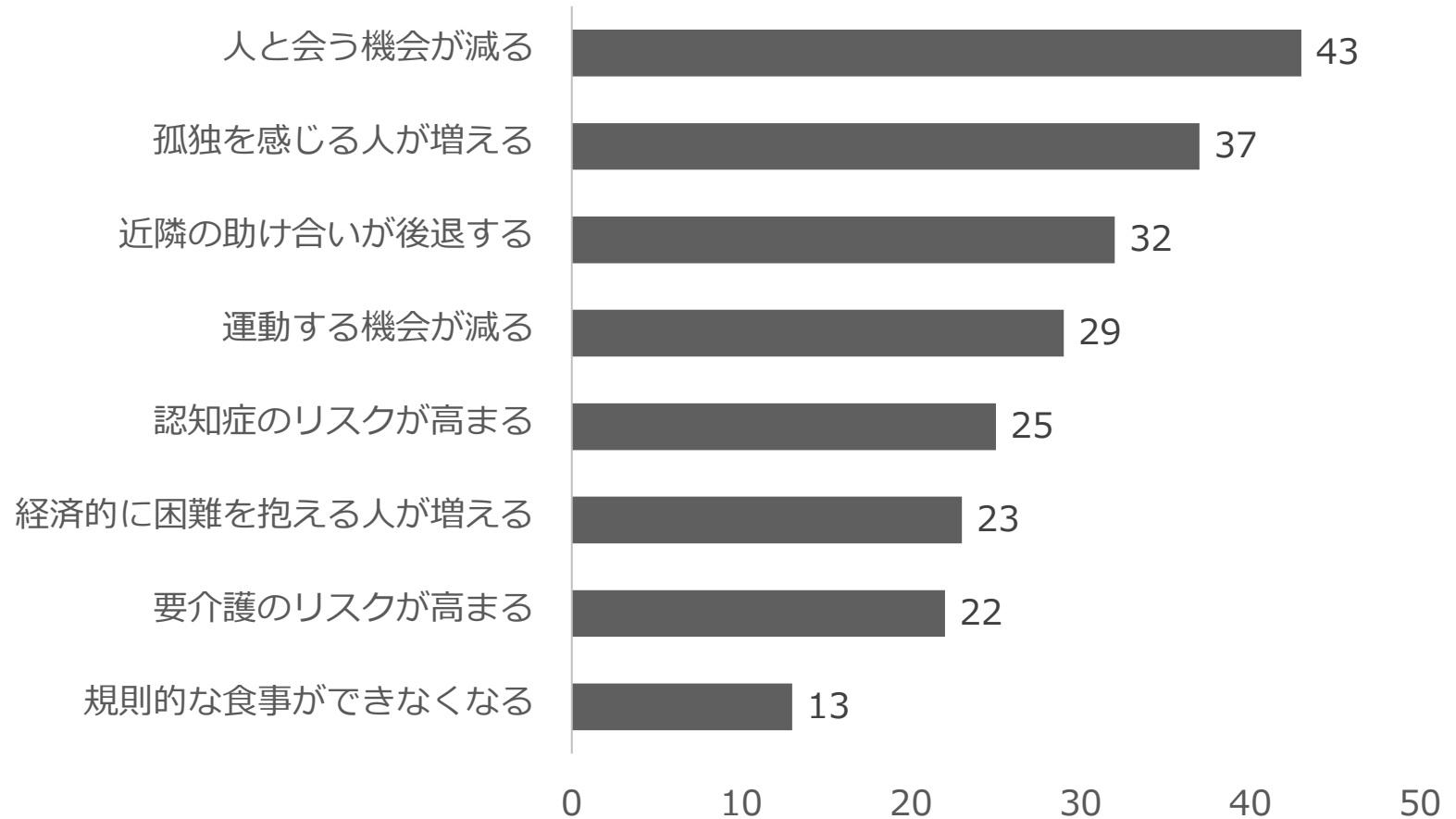
結果 1. 主な活動分野をお教えてください（複数回答可）



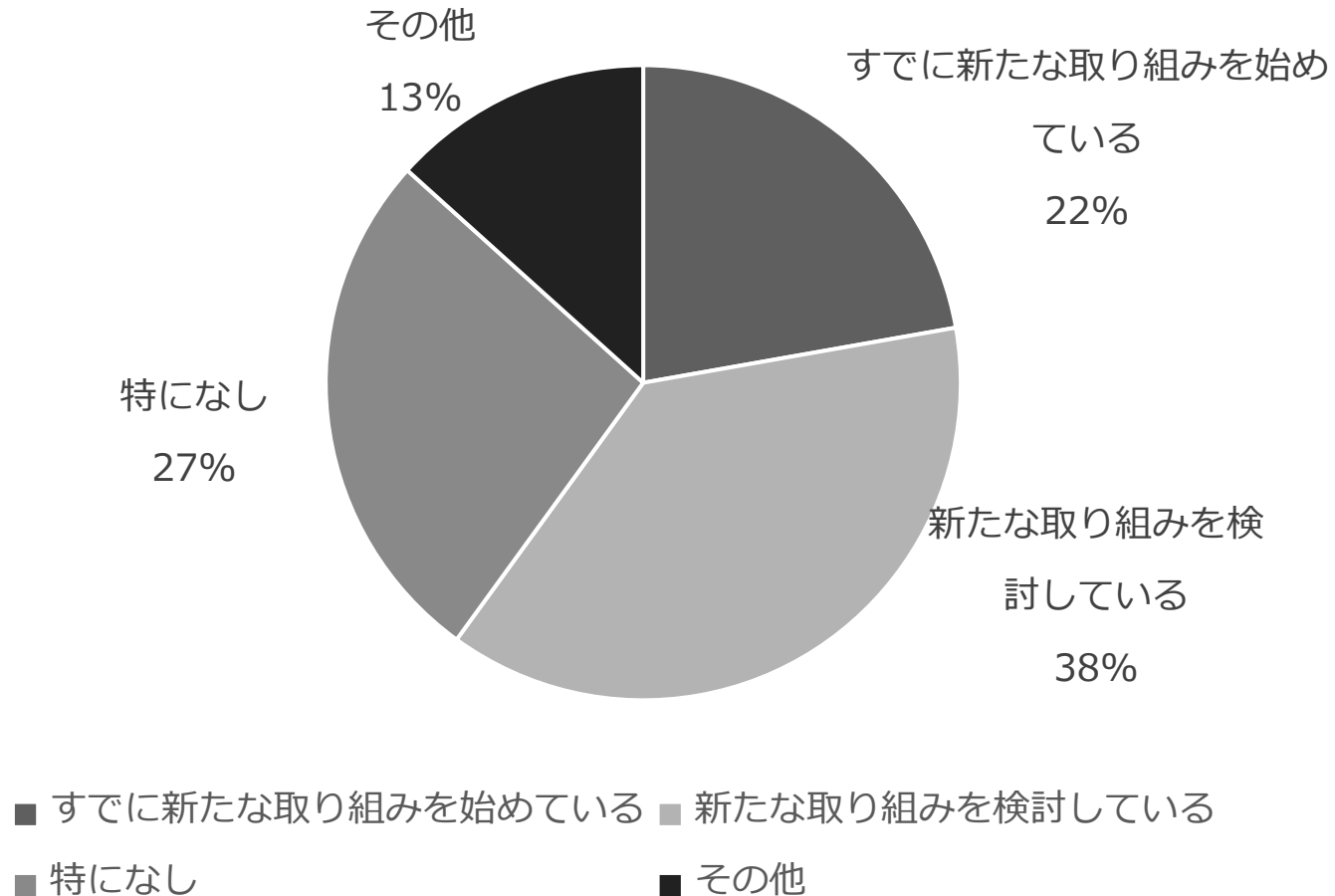
結果 2. 新型コロナウイルスの影響により、活動頻度は変化しましたか？



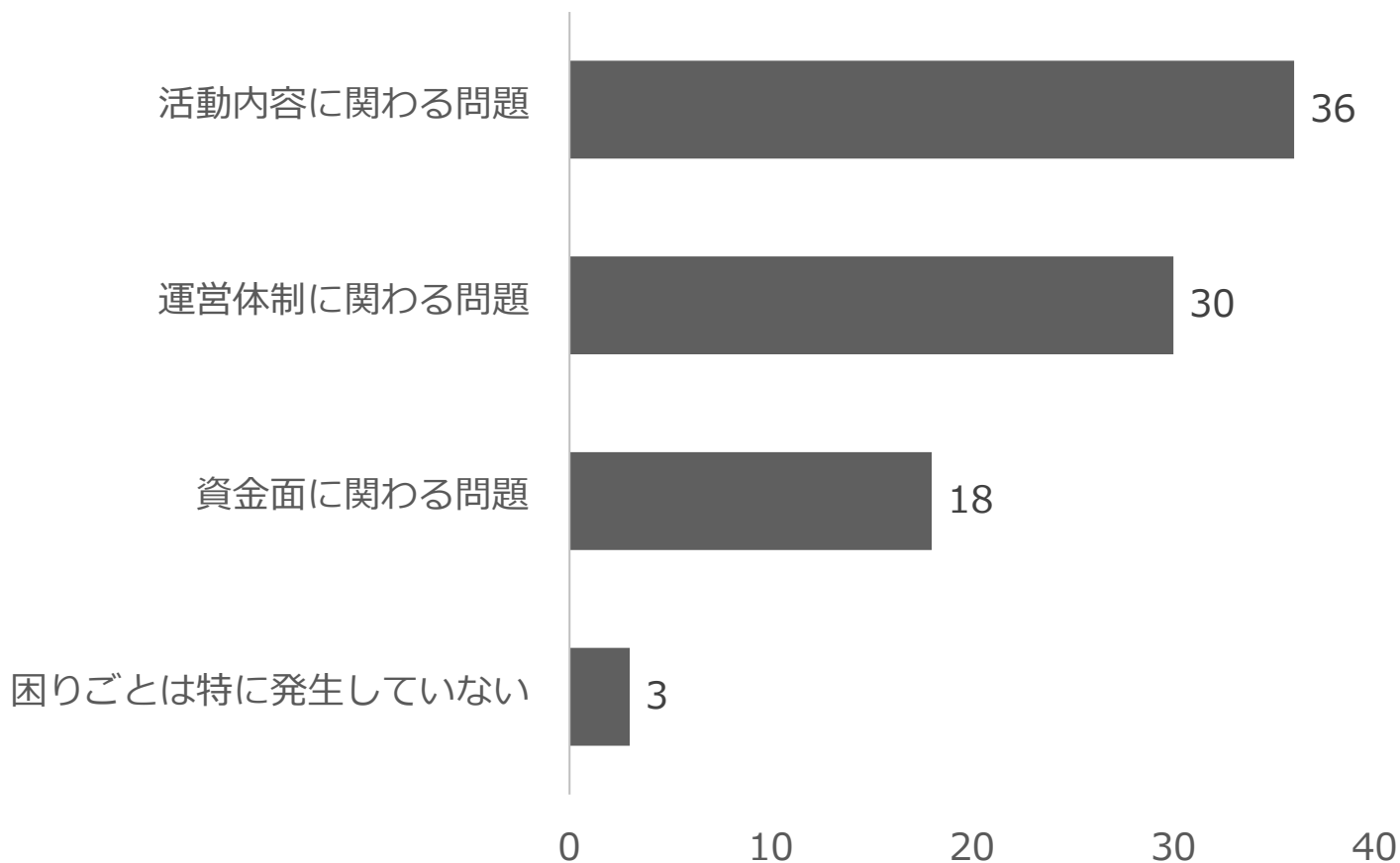
結果3. 新型コロナウイルスの影響により、みなさまの近隣の地域ではどのような課題が深刻になると感じますか？（複数回答可）



結果4. 新型コロナウイルスの影響により、新たな取り組みを始めている、または始めることを検討していますか？



結果5. 新型コロナウイルスの影響により、団体運営に関する困りごとはありますか？ある場合、どのような困りごとですか？（複数回答可）



結果5 - 2. 具体的にはどのような困りごとがありますか？

「3密」になるため認知症カフェを開催することができない。開催のめどが立たず、定例会も開かれていない状態である。よって、補助金も申請できていない。

スタッフや大勢の講師が活動できていないこと

セミナー開催の時期が決まらない、オンライン講座の開催の仕方、在宅勤務への移行など

運営委員会が開催できず、予定を立てられない。今後の予定の周知ができない。

活動そのものが停止しています。

活動メンバー、依頼者ともに感染について不安を抱えており従来実施分中止、依頼者からの病院同行依頼等実施するかどうか判断に苦しむことあり。活動メンバー感染不安により一時的に活動中止希望あり依頼引受困難なことあり

活動場所が閉鎖

個人宅でのランチが活動内容であるが、自粛制限が解除されても、感染リスクの高い活動である為、再開に向けて安全性をどう確保していくか課題である。消毒類の確保も困難。

高齢者への居場所・食事の提供をしておりますに3密の状況になるため活動を停止中。

今まで関わっていた方々と意見交換がしたいが、三密状態になるため今の現在は開催が難しい。大勢の方が集まらず行うには、どんな方法があるのか。ノウハウがわからず困っている。

再開になった時の個々人への対応（常に3密なので）ボランティアが皆高齢なので

市との契約回数の活動ができない

結果5-2. 具体的にはどのような困りごとがありますか？

集っての会議ができない。
場所が狭いので、間隔をあけることが難しい
多人数が集まることができず、実行委員会の開催ができていない。活動主旨のPRイベントを企画していたが開催が延期になってしまった。
打ち合せできないため、今後の方針が決められない
直接の面談ができない
当会は自治会館の運営をしているが、会館の利用がほとんどなくなり、利用料金が入らないので運営が厳しい。そのことを相談するにも思うように集まれない。高齢者が多い地域のため、地域の方の暮らし方についても非常に心配である。
福祉有償運送運転者講習会などの講習会や、イベントが開催できない
本来の活動の場であるプール・体育館・会議室の閉鎖により集まる場がなくなることで、完全に活動が中止となっている。それに伴い収益も途絶えている。
予定していたイベントなどができない。このまま代表者などが辞めてしまうなど
利用者のコロナウイルス感染により事業継続が止まるリスクがある。
①会員の体力減退 ②退会者も出ると思われます ③会場の確保 ④講師の確保
ご利用者の外出制限、面会制限
実際に軌道に乗り始めた高齢者や地域主体の活動が休止し、その後のフォローができていない。臨時子供の居場所の外レク（現在は休止）も母体が医療機関のため、感染防止の面から継続困難となった。当初の目標はオンラインやfbを通じて発信しているが、高齢者やSOSの声が発せられない人たちからは疎遠なものになっている点。
社会参加、人との関わりあいを前提として活動であったので、今後どのように活動をしていくか
従来の地域住民の居場所の機能が休止したことで、居場所を失った人たちが引きこもり状態となり体力低下、人とのコミュニケーションが減少して精神的なストレスを抱えている。認知症の方(オレンジカフェなどで対応していた)のフォロー、介護者(ケアラー)支援のフォローが出来なくなった。
配食サービスの停止に対して、市に支援の申し入れをし、また、高齢者が外出しないことによるフレイル化進展の防止策について、問題提起をした。
地元商店による近隣住民の支援体制整備でもあるのですが、地元商店自体が営業自粛や景気の減退でどうしても活動自体に勢いがでない事でしょうか…

結果5-2. 具体的にはどのような困りごとがありますか？

コミュニケーションを大切に考えているので、人との接触をなし活動する方法がつかばない。
運営場所を確保する為に、持続的に収入を、得なければならないが、人が活動していない現在の状況では収入を見込める活動を考えにくい。

高齢運転手の活動を制限しているため運転手不足が生じている。また、認定講習も中止となっているので、運転手が増やせない状態となっている。人工透析の通院など必要不可欠な外出の移動手段が確保できない状態となっている。運行件数が減少し、資金面も苦しくなっている。

人件費の確保、人手不足

相談事業で10人以上集まりの場合の扱いがむづかしい。3密を回避するための方法に人と資金が必要、また、スタッフへの謝金の支払いができなくなり、スタッフが経済的に困る。
事業収入がほとんどなくなり、運営資金の不足が心配となる。

母体が医療機関のため経営状態が厳しい

シニア向けの各種の催事がすべて中止になり、収入減。講師派遣のキャンセルが続出し登録講師の収入源。自粛により使用しない事務所家賃（シェアルーム、月額3万5千円）の支私。
自粛により決算報告業務の停滞、新年度事業の検討会、年次総会の延期。

①感染防御のための物資の不足。②活動のための時間が確保できない。③SNS活用のスキル。

インターネットで連絡できない方への情報提供が出来ない。

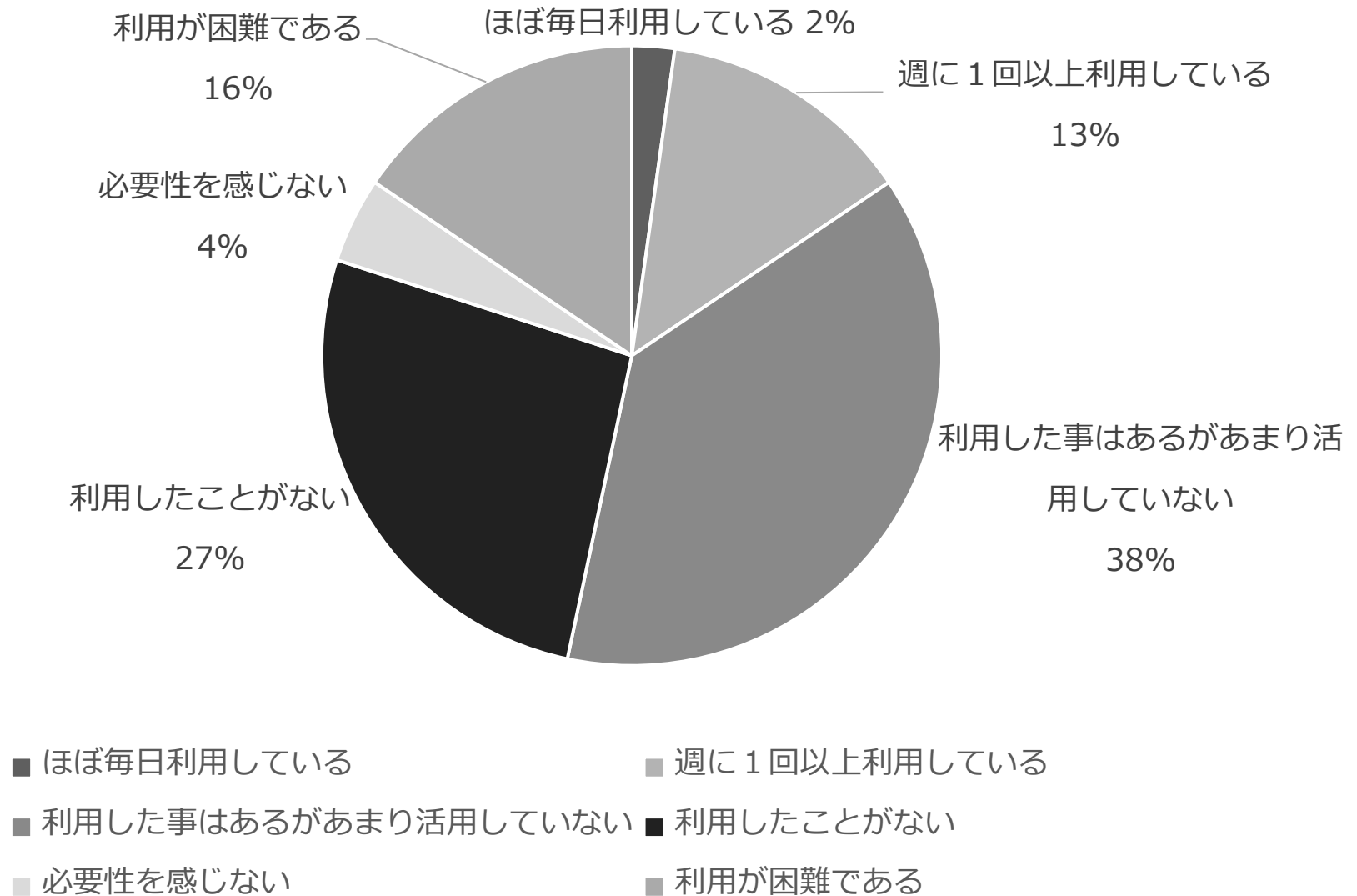
検討中のリモートシステムについて、導入、運用などを専門の方に相談したい

先が見えない。いつまでという期間が見当もつかない。

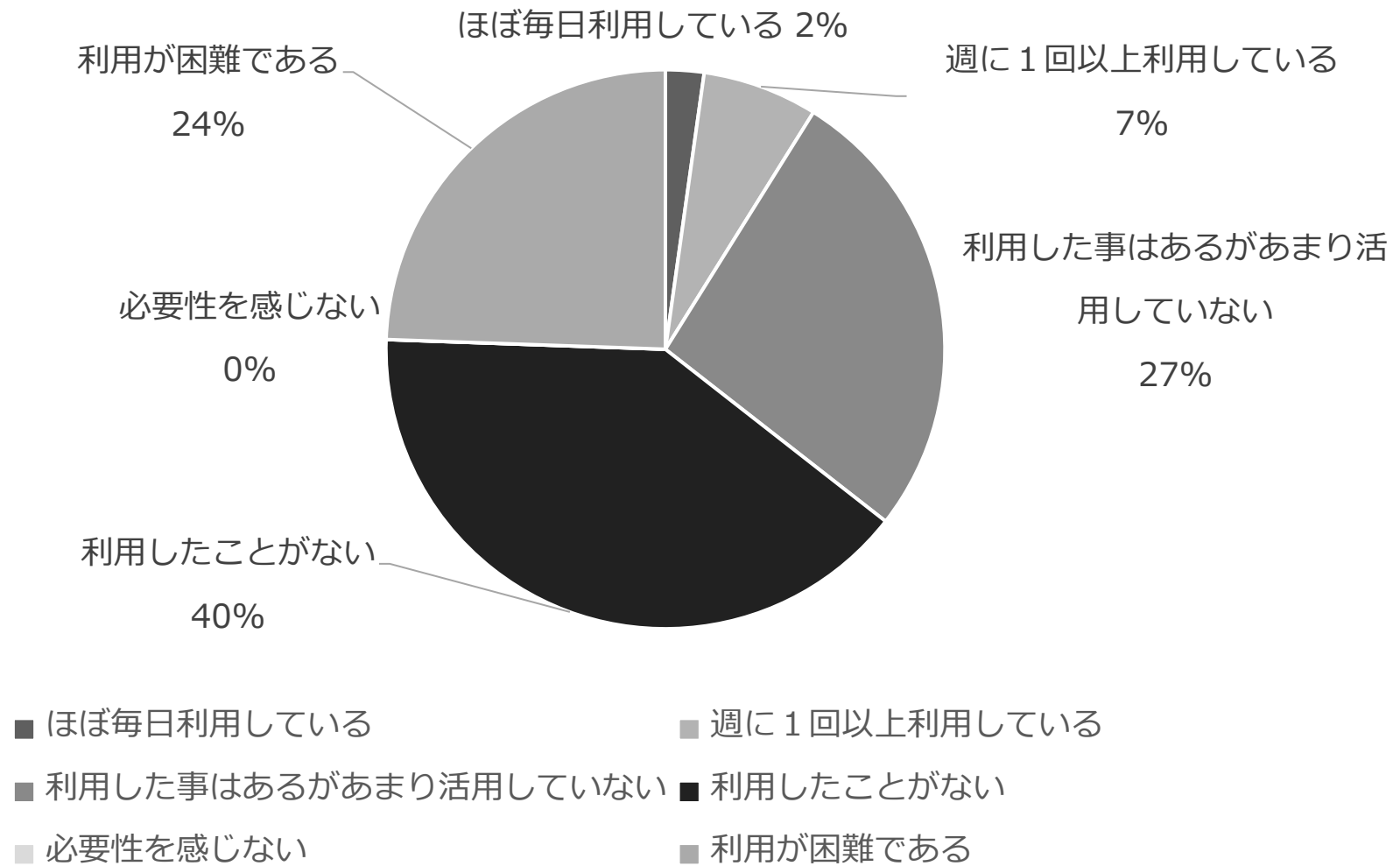
先の見通しが立たないこと

団体継続のためNPO等の法人化を検討したいが担当役員の高齢化により維持できるか、決定できない。

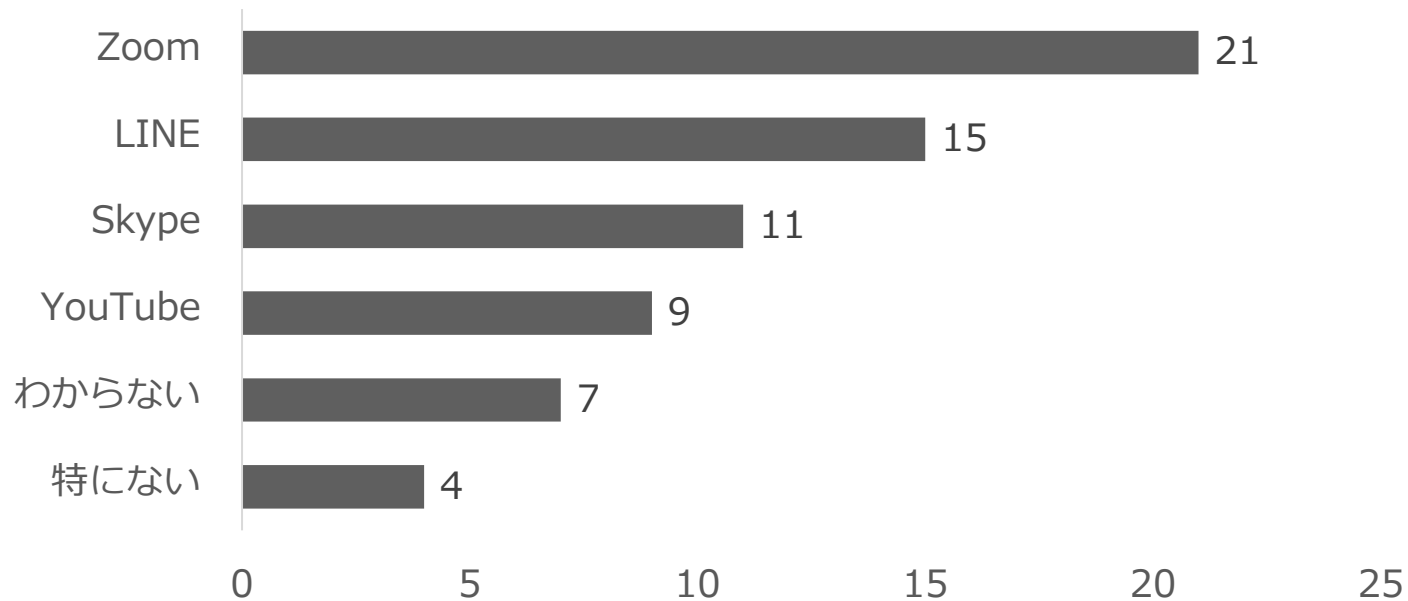
結果6. 団体内部の関係者やメンバーとの会議などにおいて、ビデオ会議ツールを利用していますか？



結果6-2. 活動の参加者とのコミュニケーションにおいて、ビデオ会議ツールを利用していますか？



結果6-3. 今後の活動のため、使い方が分かれば活用してみたいサービスはありますか？（複数回答可）



その他の回答内容（自由記述）

- ・高齢者・障害のある人でも使えるツールは何か考えている
- ・この辺が若い方と異なるかもしれないが、そこまでの活動かという方が多い。
- ・スタッフ・講師とのメーリングリスト又はMessenger
- ・すべて使っているが、もっと有効利用できたらと思う
- ・それぞれの特徴、使いやすさなどがわからないが、活用できれば使いたい。
- ・ハグアウト、whereby, placelessなど、便宜性と安全性の高いサービス
- ・個人てきにはLINEで通じている人もいる
- ・高齢者が多いため、使える環境そのものがあるかどうか不明。
- ・会議だけでなく、ソフトの機能から新しくイベントも作れると思う。そんな研究がしたい。
- ・対外的な関係のなかではZoomを利用している。グループ内では、電話対応。

結果7. 東京都内の類似した活動を行う団体との間で、ビデオ会議ツールを利用した情報交換をしてみたいと思いますか？

